

## 倉敷コミュニティメディアと 市が消防庁長官賞を受賞

### 緊急告知FMラジオを開発

地方公共団体や自主防災組織の優れた取り組みなどに贈られる「第11回防災まちづくり大賞」(消防庁など主催)で、災害時に自動的に電源が入り、避難勧告を伝える緊急告知FMラジオを開発した「倉敷コミュニティメディア(KCM)」と倉敷市が、防災情報部門で総務大臣賞に次ぐ消防庁長官賞を受賞した。「ラジオの開発と市の防災体制の連携」を評価さ

れた。

緊急告知ラジオは04年の台風被害を教訓に、エフエムくらしき、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送の3社でつくるKCMが共同開発した。これまで市内の学校や福祉施設などに約千台配置されているほか、近隣自治体や県外にも導入されつつある。応募したエフエムくらしきの大久保憲作社長は「榮譽ある賞で、励みになります」と話した。表彰式は29日に東京で。